

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

職員のスキルアップのために

消防大学校

伝達講習会を開催！



甲賀広域行政組合消防本部では、平成31年3月18日と19日の2日間、同消防本部の職員を対象とした消防大学校伝達講習会を開催しました。この講習会は、平成31年度中に東京都の消防大学校の教育課程を修了した職員を講師として、同校の教育内容を広く職員に伝達することで、職員一人ひとりの知識や技術の向上を図り、より良い消防行政の展開につなげるために実施したもので、2日間で157名の職員が受講しました。講習においては、主に現場活動時における安全管理について講師から説明があり、受講した職員からは「災害現場の危険な箇所を見極めるポイントを学ぶことができ、大変有意義だった。」という声がありました。

甲賀広域行政組合消防本部では、今後もさまざまな機会をとらえ、職員のスキルアップを図っていきます。

放射線災害実働型 連携訓練を実施しました！

甲賀広域行政組合甲南消防署では、平成31年2月4日と5日の2日間、ガンマ線照射施設である㈱コーガイソトープのご協力のもと、同社工場において、建物火災を想定した放射線災害実働型連携訓練を実施しました。

この訓練は、放射線取扱事業所と消防機関が相互に連携を図り、特殊な現場での対応能力の向上を図ることを目的として実施したもので、その中では、同社から各種測定機器の借受や環境測定における同行のほか、専門家としての助言を受けることができ、大変有意義な訓練となりました。

今回の訓練は、昨年9月に同社に協力を得て実施した放射線に関する教養研修が役立つ結果となり、甲賀広域行政組合甲南消防署では、今後においても、さらに同社との連携を強化し、知識と技術を深め、災害対応能力の向上を図ることとしています。



訓練中の様子

連携強化を図り

新名神高速道路上の万一に備える!

甲賀広域行政組合消防本部では、平成31年3月1日に、三重県三重郡菟野町で開催された三重県内高速道路消防連絡協議会総合消防訓練に参加しました。

この訓練は、同年3月17日の新名神高速道路（新四日市SIC〜亀山西JCT間）の開通に先立ち、沿線の各消防本部の連携強化を図り、災害活動能力の向上につなげるため、三重県内高速道路消防連絡協議会が主催し開催されたもので、消防・警察・中日本高速道路株式会社の全8機関、71名が参加しました。



今回の訓練では、高速道路上でマイクロバスとトラックや乗用車が絡む交通事故が発生し、多数の負傷者が発生したとの想定で実施され、救助隊や消防隊、救急隊が連携しながら、負傷者の救出や搬送、事故車両の出火防止にあたりました。

訓練の最後には、本部長である桑名市消防本部のいなべ消防署長から「今後も今回のような訓練を繰り返し、顔の見えつながらの中で連携強化を図り、災害対応能力を向上していきたい。」と講評がありました。

ヤクルトレディ

による防火広報!

甲賀広域行政組合水口消防署では、春の火災予防運動における広報事業の一環として、京滋ヤクルト販売株式会社甲南センター様ご協力のもと、商品を購入される方の目に留まるよう、「春の火災予防運動実施中」と大きく明示したチラシ入りのバッグを、その期間中となる平成31年3月1日から7日までの1週間、甲賀市内を巡回される16名のヤクルトレディのみなさんに携帯してもらいました。

この取組により、甲賀市内の様々な事業所や個人宅など、幅広く効果的な広報が実施できました。

甲賀広域行政組合水口消防署では、火災発生ゼロを目指し、今後も住民のみなさんの目に留まるような企画を計画し、実施していくこととしています。



▷ チラシの入ったバッグを持つヤクルトレディ

Information いろいろ情報板

（毎年6月第2週は）

危険物安全週間です!

石油類をはじめとする危険物は、事業所などにおいて幅広く利用されているとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性はますます増大しています。

このことから、事業所における自主保安体制の確立を促すとともに、広く市民のみなさんに危険物事故の防止と危険物の安全な貯蔵・取扱いについて呼びかけるため、危険物安全週間を実施します。

危険物は、「火災が起こりやすい」、「火災が拡大しやすい」、「消火が難しい」という3つの危険性を持っています。

みなさんも、これらの危険性に十分に留意し、危険物の安全な取扱いに努めましょう。

平成31年甲賀消防管内 災害発生状況

(3月末現在)

火災	18件
救急	1,474件
救助	27件
その他	122件